

Sumitomo Mitsui Banking Corporation Brazil DAILY MARKET REPORT



Treasury Department

マーケットサマリー

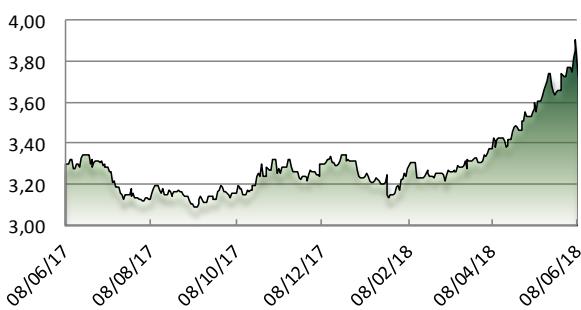
先週末のドルレアルスポット相場は、ブラジル中銀と財務省(国庫庁)が共同で潤沢な流動性を為替市場、国債市場に供給することを表明したことでレアルが大幅に反発し、3.70台後半で取引を終えた。Goldfajn中銀総裁は相場が大荒れとなった7日のマーケット終了後に急遽記者会見を行い(18時半)、「利用可能なあらゆる手段を講じて為替市場の安定化に努める」ことを改めて強調。具体的手段として、新規スワップ入札規模の拡大、FXクレジットライン(スポット市場での買い戻し条件付けドル売り)、外貨準備の活用(中銀総裁が外貨準備まで踏み込んで発言することは非常に稀)を挙げた。スワップ入札については、残高を積み上げることに何の問題もない(残高はレアルが急落した2015年に一時1100億ドルを超過したが、足許では400億ドル未満まで削減していた)、との見解を示した上で、8日から15日の6営業日で合計245億ドルのスワップ入札を実施すると説明した(通常の新規入札は1万5千枚=7.5億ドル相当。6営業日連続で45億ドル相当。これとは別に追加で200億ドル相当を実施。なお、8日には早速6万枚の入札を実施=30億ドル相当)。一方で、マーケットが期待している緊急利上げについては、「19-20日に予定している通常のCOPOM前に利上げをすることはない」と明確に否定。中銀は金融政策を特定の水準に為替を誘導することを目的に活用することはない、と述べた他、①ブラジル国内のファンダメンタルズは堅調に推移しており、中銀の役割は市場のヘッジニーズを満たすことである、②変動相場制は急変時の最初の防衛手段になり得る、との見解も示している。

マーケットデータ

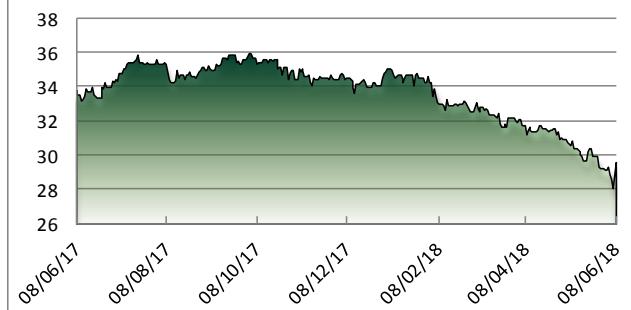
Indicator		Unit	6月7日	6月8日	前日比	1ヶ月前比	(年初来)高値	(年初来)安値
レアル	対ドル	BRL	3,9043	3,7091	-5,00%	4,14%	3,1210	3,9672
	対円	JPY	28,07	29,54	5,24%	-3,54%	35,13	27,63
	対ユーロ	BRL	4,6108	4,3652	-5,33%	3,25%	3,8531	4,6831
円	対ドル	JPY	109,70	109,55	-0,14%	0,38%	104,56	113,39
	対ユーロ	JPY	129,43	128,93	-0,39%	-0,42%	124,62	137,50
Bovespa (ブラジル株価指数)	Index		73,851	72,942	-1,23%	-12,07%	88,318	71,162
CDS Brazil 5yrs	bps		254,20	251,23	-1,17%	26,47%	262,25	142,50
Brazil 10yrs Gov. Bond	%		12,10	11,64	-3,80%	16,20%	12,40	9,43
DI Future Jan19 (金利先物)	%		7,59	7,34	-3,23%	15,96%	7,88	6,21
3 Months US Dollar Libor	%		2,3271	2,3263	-0,03%	-1,11%	2,3691	1,6959
CRB Index (国際商品指数)	Index		199,49	200,04	0,28%	-1,01%	206,95	187,35

これらのレートは各市場における終了時点の気配値です。実際のレート提示は弊行担当者までお問い合わせ下さい。

ドルレアルスポットチャート



レアル円スポットチャート



〈オプスマン連絡先: 0800 722 2762〉

本レポートは情報の提供目的としており、何らかの行動を喚起するものではありません。ここに示した意見は本レポート作成現在の筆者の意見を示すのみです。データや数値の抽出範囲・基準は任意で設定している場合があります。データ・資料等については、数値等の誤りが含まれている可能性があります。本レポートに基づき、お客様が投資のご判断をされた結果生じた損害・損失については当行は一切責任を負いません。投資や資金運用に関する最終決定は、お客様ご自身で判断されるようお願い申し上げます。本レポートの全部または一部の無断コピー・転載はご遠慮頂きますようお願い申し上げます。